

# 週 報

1991年9月22日 聖霊降臨節第19主日

巻 12 25号

1991年度教会主題

「神の国は私たちの間にある」

聖句 ファリサイ派の人々が、神の国はいつ来るのかと尋ねたので、イエスは答えて言われた。「神の国は、見える形では来ない。『ここにある』『あそこにある』と言えるものでもない。実に、神の国はあなたがたの間にあるのだ。

ルカによる福音書 17章20節～21節

- 目 標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
  2. 新会堂を献げ、共に宣教に励む。

日本キリスト教団

## 横浜港南台教会

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29  
電話 045-833-5323、045-833-6616  
振替 横浜 9-13994

牧 師 秋 吉 隆 雄

私はまず、聖書を資料として批評的に突き放して読む。すると、福音書記者がイエスの事実から「イエスはキリストである」という信仰をもって記した彼らの「場」と「解釈と主張」が理解される。この作業をしないと「ものみの塔」のように理性を捨てた自分勝手な読み込みになってしまう。

しかし、聖書は人間を生かす「神の言葉」なのである。福音書記者の解釈と主張から、時代を越えて語りかけるイエス・キリストの声と思いが伝わってくる。それはイエスの事実と福音書記者と今の私の三つが結びつき、聖書の証言を私にも起こった同じ体験として受け止められる。この時、聖書はまさに「神の言葉」として私を生かしてくれる。批評的に突き放した読み方と、自分の生に引きつけた聖書の読み方の繰り返し、あるいは両者の緊張関係の中で、聖書は読まれるべきだと思う。聖書は難解で日々悪戦苦闘を強いられているが、聖書に支えられ、励まされ、慰められてきた。

### —今週の誕生者—

### —集 会 状 況—

	男	女	計
主 日 礼 拜9/15	15	57	72
教 会 学 校9/15	11	17	28
野村港南台集会9/18	1	4	5
入 門 講 座 I 9/19	1	6	7

### —牧 師 室 从 ー

入門講座Iは、聖書の読み方がテーマになった。聖書を一字一句間違いのない「神の言葉」として「逐語靈感説」的に受け入れることはできない。明らかに歴史に制約された古代文書である。